

# 普及センター もりおか



インターネットでオールカラーの記事が読めるよ！

いわてアグリベンチャーネット 普及センターもりおか

検索

第146号平成26年7月25日発行  
盛岡農業改良普及センター  
盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎  
TEL 019-629-6730 FAX 019-629-6739

## 農作業中の熱中症に注意しましょう！

暑い年となった昨年、救急搬送された方は全国で約59千人。年齢別では65歳以上が全体の約半分を占めています。熱中症は、梅雨明け後の蒸し暑い日など、体が暑さに慣れていない時に起こりやすい傾向にあります！これから、梅雨も明け、暑くなることが予想されます。水分を十分とる、体を冷やす夏野菜を食べるなどして熱中症には十分注意しましょう！

### ①天気予報を確認しましょう！

気温の高い日はもちろん、風が弱い日や湿度が高い日も熱中症にかかりやすくなります！

天気予報

今日の最高気温  
30℃以上！



### ②体調は万全ですか？

体長不良時は熱中症の危険高くなります！作業時間を減らす、負荷の軽い作業にするなど、無理しないようにしましょう。

朝ごはんもしっかり食べよう！



### ③作業前の準備をしっかりと！

日差しを遮り、汗を逃がしやすい涼しい服装、直射日光を遮る帽子、水分補給がすぐできるように飲み物も準備しましょう！

特に高齢者は水分不足や暑さを感じにくくなっています。こまめに休憩を取り、喉の渇きを感じなくても積極的に給水しましょう！汗をかいた時は塩分も同時に補いましょう！



### ④2人以上での作業、作業場所の改善を！

1人での作業は発見が遅れ、熱中症が重症化するおそれがあります！できる限り2人以上で、声を掛け合いながら作業しましょう！気温が上がりやすい施設内での作業は、換気や遮光をするだけでもかなり作業しやすくなります！

### ⑤処置は迅速に！

急な体温上昇やめまいを感じたらすぐに涼しい日陰などで休憩を取り、水分補給をしましょう。

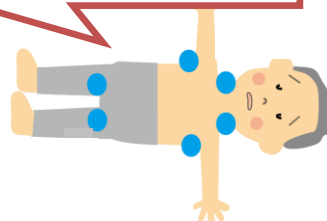


衣服を脱がせ首やわきの下、足の付け根を冷やしましょう！

自力で水が飲めない、意識がない場合は、直ちに救急車を呼びましょう！

休憩しましょ～！

は～い！



# 「技術実証って、つまりはどんなことをするの？」

前は野菜チームから「ねぎの適正施肥実証」について紹介しました。  
今回は花きチームから「エスレルを利用した小菊の開花調節技術実証」  
について紹介します！



**背景** 小菊の最大の需要期はお盆であるが、近年の異常気象により需要期前に開花してしまう。

新しい品種を導入するのも難しいし、既存品種で需要期に開花させる方法はないかしら・・・？



そこで！

## 目的

ホルモン剤（エスレル 10）を活用して、需要期に開花する処理方法の実証を行う。



### ホルモン剤「エスレル 10」とは・・・

植物ホルモンの「エチレン」の作用をそのまま現すホルモン剤の事です。  
着花・開花促進、着色・熟期促進、倒伏軽減などの効果もありますが、菊に対しては開花抑制の効果があります。処理時期は「摘心時または定植後 1 週間以内及びその後 10～14 日毎」で3回まで使用できますが、3 回の使用は花持ちに影響するというデータもあることから、2回処理を基本とする処理日（1回目・2回目）の検討が必要となります。

## 実証内容

試験区	定植日	摘心日	1回目処理	2回目処理
慣行区	5月1日	5月8日	—	—
試験区 1	5月1日	5月8日	5月8日	—
試験区 2	5月1日	5月8日	5月8日	5月18日
試験区 3	5月8日	5月15日	—	—
試験区 4	5月8日	5月15日	5月15日	—
試験区 5	5月8日	5月15日	5月15日	5月25日

慣行の定植日の他、1週間遅い定植区を設定し、それぞれにエスレル無処理区、1回定植区、2回定植区を設定しました。

調査する品種は、8月咲き品種の主力品種小雨（白）・小笛（黄）・パープルレッド（赤）の3種類



7月10日調査時のパープルレッド無処理区（写真左）と2回処理区（写真右）の様子。  
左は蕾が見えているが右はまだ少ししか見えない。

今後も、定期的な生育調査、開花期の調査、切り花品質の調査や温度調査を行いながら、需要期に開花するような定植日とエスレル処理日を検討していきます！

